

# 釧路市週休 2 日工事実施要領

釧路市総務部契約管理課

令和 7 年 3 月

## 1 目的

昨今、建設業界においては、担い手不足が懸念され、若手の技術者や技能労働者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、若年技術者等の入職促進策として、建設現場における「週休2日」の確保などによる働き方改革の実現が求められている。また、労働基準法の改定（平成31年4月施行）により、建設業において令和6年4月より罰則付時間外労働規制が適用となり、働き方改革として週休2日の確保が重要な課題であることから、建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、必要な事項について定めるものである。

## 2 適用

令和7年（2025年）3月に発注を行うゼロ市債工事から適用する。

## 3 対象工事

対象工事は次のいずれかの方式を基本とする。

### 1) 週休2日工事【現場閉所】

現場閉所が可能な全ての工事を対象とする。

工期設定支援システムを活用するなどして、週休2日による工期設定を行う。

### 2) 週休2日工事【交替制】

社会的要請や時間的な制約などにより現場閉所を行うことが困難な工事については

【交替制】に基づき休日確保を促進する。（漁港工事・営繕工事を除く）

### 3) 対象工事に適さない工事

ア 工事期間が4週未満の工事

イ 緊急に対応することが必要な工事

ウ 工期に占める工場等での製作過程に要する日数の割合が高い工事

エ その他施設状況等により、対応が困難な工事

### 4) 工期の設定

週休2日による工期設定とは、準備・後片付け期間や不稼働日（休日、降雨・降雪日・猛暑、その他の要因による作業不能日）を適正に見込んだものであり、期間が4週以上の工事を対象とするものである。

## 4 週休2日工事

### 1) 週休2日工事【現場閉所】

本工事における「月単位の週休2日【現場閉所】」とは対象期間において全ての月で4週8休以上の現場閉所を行うことをいう。

### 2) 通期の週休2日【現場閉所】

「通期の週休2日【現場閉所】」とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行うことをいう。

### 3) 月単位の4週8休以上

「月単位の4週8休以上」とは、対象期間内の全ての月毎の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただ

し、暦上の土曜日・日曜日の閉所では 28.5%に満たない月はその月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、4 週 8 休(28.5%)以上を達成しているものと見なす。

なお、現場閉所日（現場休息日）を原則として土曜日・日曜日としない場合においては、受発注者間の協議により変更できるものとする。

#### 4) 通期の 4 週 8 休以上

「通期の 4 週 8 休以上」とは、対象期間内の現場閉所率が 28.5%(8 日/28 日)の水準に達する状態をいう。

なお、現場休息率の算出において、現場休息の日数には現場閉所の日数を含む。また、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所（現場休息）の日数に含めるものとする。

#### 5) 週休 2 日工事【交替制】（土木工事・水道工事）

本工事における「月単位の週休 2 日【交替制】」とは対象期間において全ての月毎に技能者及び技能労働者が交替しながら 4 週 8 休以上の休日確保を、「通期の週休 2 日【交替制】」とは、対象期間において、技術者や技能労働者などが交替しながら 4 週 8 休以上の休日確保を行うことをいう。

### 5 対象期間

対象期間とは、契約期間内において現場における準備作業（現場事務所や仮設資材の搬入・設置、測量等）に着手した日から、後片付け作業（出来形測量や現場事務所、保安施設等の撤去。搬出等）が全て終了した日をいう。

ただし、年末年始 6 日間及び夏期休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、自主施工期間で工事を一時中止する間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは対象期間に含まない。

### 6 現場閉所

現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業も含めて 1 日を通して現場作業を行っていない日をいう。

### 7 現場休息（営繕工事）

分離発注工事又は分割発注工事（以下「分離・分割発注した工事」という。）の場合に、各発注工事単位で、1 日を通して、現場事務所での事務作業を含む一切の現場作業がない状態をいう。

なお、分離・分割発注した工事においては、受注者間で調整の上、現場閉所日を設定することが望ましいが、工程上必要な場合など、工事毎に現場休息日を設定することを妨げるものではない。

※営繕工事における【現場閉所】とは、【現場休息】を含むものとする。

## 8 発注方式

受注者が、工事着手前に、発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組む、受注者希望型での発注とする。

なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努める。

## 9 補正方法

当初予定価格から月単位の4週8休を前提とした経費の積算を行い、現場閉所の達成状況の結果、月単位の4週8休に満たない場合は履行状況に応じて減額の設計変更を行う。

### 10 対象工事である旨の明示

入札公告及び特記仕様書において、月単位の「週休2日工事」又は「週休2日工事(交替制)」の対象工事であることを明示す。

### 11 週休2日工事の実施における留意事項

- 1) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工の実施にあたってはその趣旨に沿うよう努めるものとする。
- 2) 当面の期間、週休2日の確保の取組状況に関わらず、工事成績評価において加点や減点等の措置は行わない。
- 3) 受注者は、計画的な休日の取得に努めるものとするが、現場の進捗状況等から降雨、降雪等による予定外の休工日を【現場閉所】の現場閉所日及び【交替制】の休日とすることも可とする。
- 4) 受注者は、地元対応や緊急対応など、やむを得ない場合は、監督員と協議のうえ、振替休日等により休日を取得することを可とする。

なお、現場内の安全確認等が必要な場合は、最低限の人員により対応することとする。

- 5) 発注者は、週休2日による施工が適切に実施されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの関係書類の提示により確認を行うものとする。

※関係書類として、日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等が考えられる。

- 6) 発注者は、災害対応等の緊急時を除き、休日の前日などに休日の作業が発生するような指示等を行わないこととする。
- 7) 週休2日工事【現場閉所】において、現場閉所率が月単位の4週8休に満たない場合は履行状況に応じて工事別の以下の経費を減額補正する。なお、労務費の補正が明らかになっていない単価などには補正の対象としない。

《工事別の補正対象経費 月単位の4週8休及び通期の4週8休》

土木工事・水道工事：労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費

営繕工事：労務費（複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）

《工事別の補正対象経費 月単位の4週8休のみ適用》

漁港工事：労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費

- 8) 漁港工事における週休2日工事【現場閉所】においては、海上作業<sup>\*1</sup>と陸上作業を分

離し、それぞれに、工程管理、品質管理、技術上の指揮監督を担当する技術者※2を配置して施工を進める場合は、海上作業と陸上作業で異なる日を現場閉所日に設定できることとする。

履行確認方法：海上作業、陸上作業それぞれの週休2日対象確認期間に対する現場閉所日数を合算し現場閉所率を算出する。

※1 海上作業とは、作業船使用もしくは水中作業等海象条件の影響をうける作業をいう。

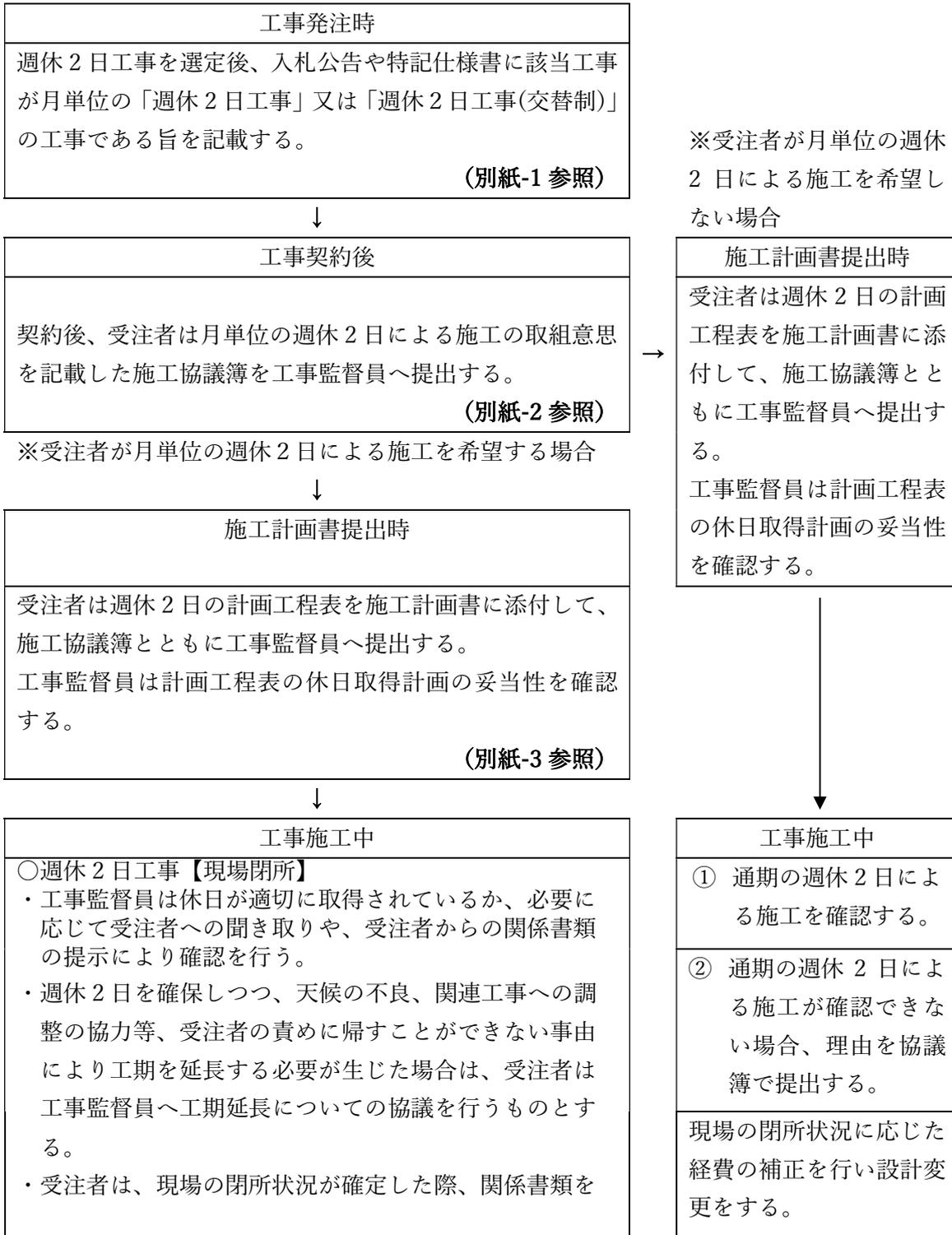
※2 それぞれを担当する技術者に必要な資格等は特に規定しないが、主任(監理)技術者と異なる場合においても、担当技術者が主任(監理)技術者として職務を果たすこととする。

- 9) 週休2日工事【交替制】において、休日率が月単位の4週8休に満たない場合は労務費及び現場管理費を減額補正する。
- なお、労務費の補正が明らかになっていない単価などについては補正の対象としない。
- 10) 週休2日工事【交替制】において、休日を除いた連続勤務1週(7日)以下で従事した技術者及び労働者は確認対象外とする。ただし、連続勤務1週(7日)以下であっても一定期間内で雇用(下請契約)しているなど、継続的であっても従事している技術者及び技能労働者については、対象工事以外を含めた期間中の勤務状況を確認するものとする。その場合については、対象工事で作業従事した開始日より1週(7日)毎を確認対象期間とする。
- 11) 週休2日は土日を休日とする4週8休以上の現場閉所または、技術者及び技能労働者が交替しながら月単位で4週8休以上の休日を確保するものであり、その実務に努めなければならない。

## 12 その他

- 1) 受注者は、週休2日工事の検証を行うため、アンケート調査の依頼があった場合は、これに協力するものとする。
- 2) この要領に定めのない事項については、必要に応じて受発注者の協議により定めるものとする。

### 1 3 工事実施フロー



添付した施工協議簿により、現場の閉所状況を工事監督員に報告する。

(別紙-4 参照)

工事監督員は、関係書類により現場の月単位及び通期の閉所状況を確認するとともに、その状況に応じ、設計変更により工事別に以下の経費の補正を行う。

土木工事・水道工事・漁港工事

労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費  
営繕工事：労務費（複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）

(別紙-5 参照)

○週休2日工事【交替制】

- ・工事監督員は技術者や技能労働者などの休日が適切に取得されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの関係書類の提示により確認を行う。
- ・週休2日を確保しつつ、天候の不良、関連工事への調整の協力等、受注者の責めに帰すことができない事由により工期を延長する必要がある場合は、受注者は工事監督員への工期延長について協議を行うものとする。
- ・受注者は、現場の休日状況が確定した際、関係書類を添付した施工協議簿により、技術者や技能労働者などの休日状況を工事監督員に報告する。

(別紙-6 参照)

- ・工事監督員は関係書類により現場の月単位及び通期の休日状況を確認するとともに、その状況に応じ、設計変更により労務費及び現場管理費の補正を行う。



工事完了後

- ・工事完了後、受注者を対象としたアンケート調査に協力するものとする。

## 1 入札公告・現場説明書の記載例

## 入札の公告

「入札に付する事項」に以下を追記する。

本工事は、月単位の「週休2日工事」又は「週休2日工事(交替制)」の対象工事である。

## 現場説明書

「現場説明書」に以下を記載する。

本工事は、月単位の「週休2日工事」又は「週休2日工事(交替制)」の対象工事である。受注者は契約後、月単位の週休2日に取り組む旨を発注者と協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日に取り組む希望工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めること。

## 2 特記仕様書の記載例

特記仕様書に以下事項を記載すること。

## ○ 月単位の週休2日工事【現場閉所】の実施について

1. 本工事は、月単位の「週休2日工事」の対象工事である。
2. 受注者が月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めること。
3. 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。  
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは対象期間に含まない。工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
4. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率」)が28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。

通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が28.5%(8日/28日)の水準の

状態をいう。

6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
  - 2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. 補正方法

**【土木工事・水道工事・漁港工事】**

現場の閉所状況に応じて、以下の補正係数を、労務費、機械経費(賃料)、共通仮設費率、現場管理費率に乗じる。市場単価方式についても、現場の閉所状況に応じて補正係数を乗じるものとする。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。

1) 現場の閉所状況

上記5に示した現場の閉所状況を達成した場合。

2) 補正方法

当初予定価格から月単位における4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

1 土木工事・水道工事の場合 **【補正係数】**

4週8休以上(月単位)

・労務費	1.04
・機械経費(賃料)	1.02
・共通仮設費率	1.03
・現場管理費率	1.05

4週8休以上(通期)

・労務費	1.02
・機械経費(賃料)	1.02
・共通仮設費率	1.02
・現場管理費率	1.03

2 漁港工事の場合 **【補正係数】**

4週8休以上(月単位)

・労務費	1.04
・機械経費(賃料)	1.02
・共通仮設費率	1.02
・現場管理費率	1.03

### 【営繕工事】

現場の閉所状況に応じて、労務費（複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を乗じるものとする。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。

#### 1) 現場の閉所状況

上記5に示した現場の閉所状況を達成した場合。

#### 2) 補正方法

当初予定価格から月単位における4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

##### 1 営繕工事の場合【補正係数】

4週8休以上(月単位)

・労務費 1.04

4週8休以上(通期)

・労務費 1.02

10. 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査に協力する。

11. 週休2日の実施計画書提出後、該当工事の全体工期については、影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外と出来る場合があるので、受発注者間協議を行うこと。

### ○ 月単位の週休2日工事【交替制】の実施について

#### 【土木工事・水道工事】

1. 本工事は、月単位の「週休2日工事(交替制)」の対象工事である。
2. 受注者が月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合の月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工に努めること。
3. 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月ごとに技術者及び作業員などが交替しながら4週8休以上の休日の確保を行ったと認められる状態をいう。
4. 対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、受注者の責によらず交替制による週休2日の実施が困難な期間は含まない。
5. 4週8休以上とは、対象期間内に現場に従事した技能者及び技能労働者の平均休日日数の割合(以下、「休日率」という)が28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。
6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  - 1) 受注者は、技術者及び技能労働者などの休日確保状況を証明する方法を具体的

に明示した施工計画書を発注者へ提出する。

2) 受注者は、実施の結果を発注者へ報告する。

8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

9. 対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日日数の割合に応じて、以下の補正係数を労務費、現場管理費に乘じる。なお、労務費分が明らかとなっていない市場単価等については、補正の対象としない。

1) 技術者及び技能労働者の休日率の状況

4週8休以上

休日率が28.5%(8日/28日)以上の場合

2) 補正方法

当初予定価格から4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乘じている。なお、休日率の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日交替制の補正係数に設計変更する。通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

4週8休以上(月単位)

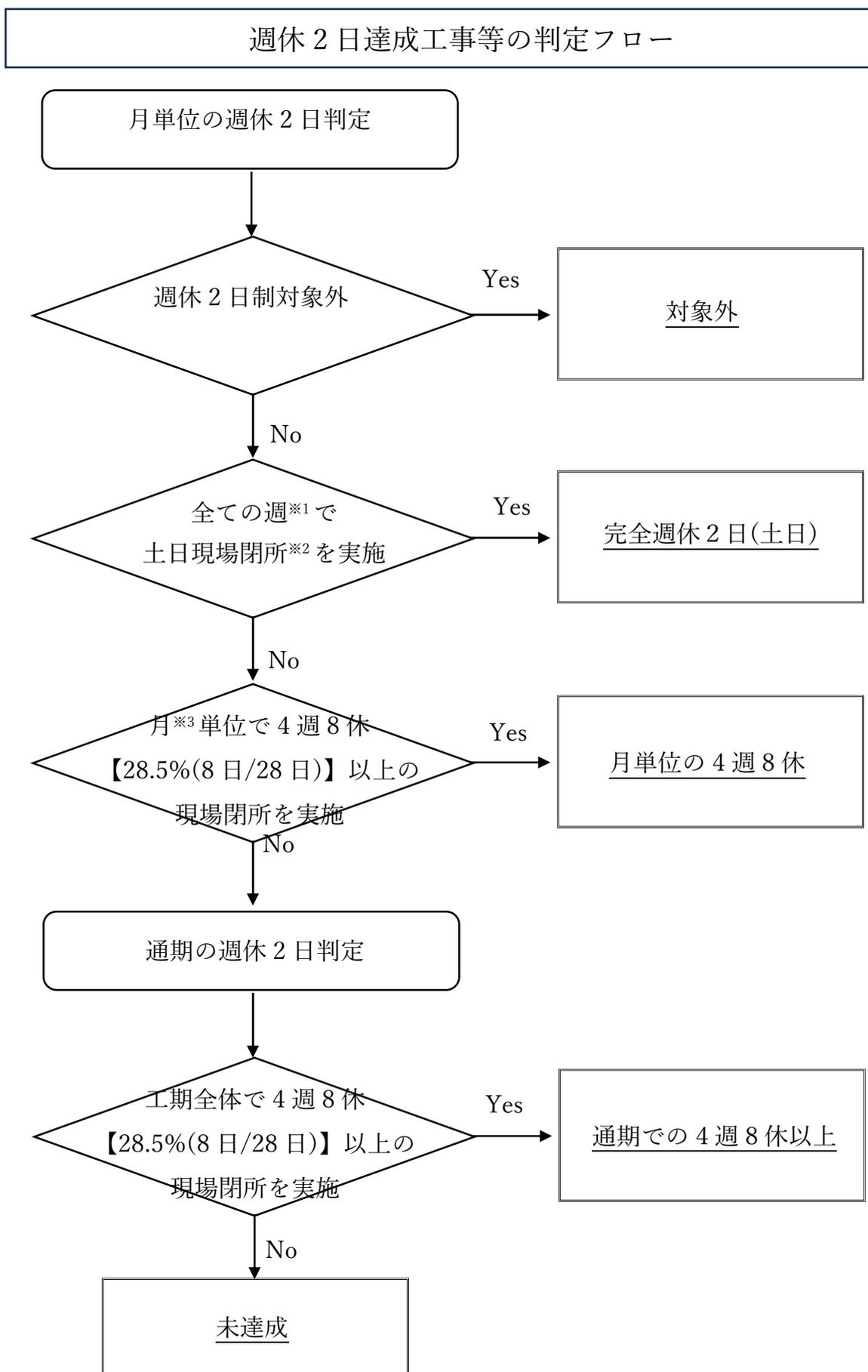
・労務費	1.04
・現場管理費率	1.03

4週8休以上(通期)

・労務費	1.02
・現場管理費率	1.01

10. 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査に協力する。

11. 週休2日の実施計画書提出後、該当工事の全体工期については、影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外と出来る場合があるので、受発注者間協議を行うこと。



## 週休 2 日達成工事等の判定フロー(補足)

- ※1 「週」は、日曜日から土曜日の 7 日間とする。なお、工期始期・終期、年末年始休暇、夏季休暇などにより、7 日間に満たない期間は達成判断の対象外とする。
- ※2 地元説明会などの発注者の指示により、受注者の責によらず土曜日または日曜日かその両方を閉所していない場合、代替日を設定している際は達成したものとみなす。
- ※3 「月」は、暦の月に基づくものとする。暦上週 2 日の閉所では 28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4 週 8 休(28.5%以上)を達成しているものと見なす。

# 「月単位で週休2日を達成した工事」の判定

参考②

工事期間中に受注者より提出された現場閉所を確認できる資料等(現場閉所実績が記載された工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等)により、達成状況を確認。

「月単位で週休2日を達成した工事」  
→対象期間において、全ての月毎に4週8休(28.5%以上)を達成している工事

## 「月単位で週休2日を達成した工事」

1月 黄色塗:閉所日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→35.4%(11日/31日)

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

→32.1%(9日/28日)

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→29.0%(9日/31日)

32.2%  
(29日/90日)

## 「月単位で週休2日を達成していない工事」

1月 黄色塗:閉所日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→35.4%(11日/31日)

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

→32.1%(9日/28日)

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→22.5%(7日/31日)

30.0%  
(27日/90日)  
※工期全体では達成している

なお、暦上週2日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%以上)を達成しているものと見なす。

(例1) 黄色塗:閉所日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→25.8%(8日/31日)

→現場閉所8日≥土日計8日

→月単位で4週8休を達成

(例2) 期間対象外

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→25.0%(3日/12日)

→現場閉所3日≥土日計2日

→月単位で4週8休を達成

(例3)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※「週」は、日曜日から土曜日の7日間とし、工期始期・終期、年末年始休暇、夏季休暇などにより、7日間に満たない期間は達成判断の対象外とする。

記載例

契約後打合せ時

様式 土7

20\*\*年(令和 年) 月 日

# 指示・承諾・協議書

No.

工事名	●●工事										
宛先	工事監督員 ○○ ○○					発行者	現場代理人 ○○ ○○				
現場代理人	週休2日工事について協議します。										
例1)	当工事において、月単位の週休2日による施工は実施しません。										
例2)	当工事において、月単位の週休2日による施工を希望します。										
工事監督員	例1)										
	了解しました。										
	特記仕様書にも記載のとおり、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による										
	施工に努めてください。										
	なお、当初掲示用していた月単位の4週8休の経費補正については履行状況に合わせて設計変更します。										
	例2)										
	了解しました。										
	月単位の週休2日による施工を実施してください。										
	また、月単位の週休2日の計画工程表を提出願います。										
受注者							監督員				

記載例

計画工程表受理時

様式 土7

20\*\*年(令和 年) 月 日

指示・承諾・協議書

No.

工事名	●●工事								
宛先	工事監督員 ○○ ○○				発行者	現場代理人 ○○ ○○			
現場代理人	<p>○月○日に協議した、週休2日の計画工程表を提出します。</p> <p>施工計画時における週休2日確保の確認資料として、休日等取得実績調書を提出します。</p>								
工事監督員	<p>例1)</p> <p>提出書類により、月単位の週休2日が確保されていることを確認しました。</p> <p>また、計画工程表の内容が適正(妥当)ですので、この工程表に沿って工事を進めてください。</p> <p>なお、施工中に工程変更が必要となった場合は、別途協議します。</p>								
受注者								監督員	

休日等取得実績調書

着手前確認時・例

工事名 ○○○線交付金(改築)工事(債務) 契約工期 2024年3月12日 ~ 2025年2月10日 対象期間 工事の始期 ~ 工事の完了日

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
2024年	3月	日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日													
2024年	4月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金												
2024年	5月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日												
2024年	6月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金										
2024年	7月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日										
2024年	8月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日						
2024年	9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
2024年	10月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
2024年	11月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
2024年	12月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
2025年	1月	年	年	年	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
2025年	2月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
2025年	3月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			

一時中止等、発注者があらかじめ履行の対象外としている期間は空欄とする。(対象期間外となる)

対象期間は、空欄でよい。(工事完了後に記入)

施工計画時の対象期間始期は、この場合4月29日となる。

夏季休暇の3日間、年末年始の6日間は対象期間としない。  
この期間を作業日とする場合は、その日数分を他の期間で対象期間外とする。

ここが、「通期での4週8休達成」以上となっていることを確認する。

施工計画時の対象期間完了日は、この場合1月28日となる。

【凡例】 ■:作業日 休:休工期 (空白):対象外期間

- ・休工期(休)の合計が、現場閉所日数となる。…①
- ・作業日(■)と休工期(休)の合計が、対象期間日数となる。…②
- ・右記の現場閉所率は、①/②により計算される。
- ・現場閉所率は  
4週8休以上: 8日/28日=28.5%以上休

計画時チェック

週休2日達成判定 = **完全週休2日(土日)達成**  
 現場閉所率(%) = 現場閉所日数/週休2日確認対象期間  
 = 74日/257日  
 = **28.794%** → **4週8休以上**

[週休別現場閉所率]

4週8休以上  
28.5%以上

実施時チェック

週休2日達成判定 =   
 現場閉所率(%) = 現場閉所日数/週休2日確認対象期間  
 = 0日/0日  
 =   
 →



休日等取得実績調査

工事实施時・例

工事名 ○○○線交付金(改築)工事(償務) 契約工期 2024年3月12日 ~ 2025年2月10日 対象期間 工事の始期 2024年5月6日 ~ 工事の完了日 2025年1月16日

2024年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
3月	日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
4月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
5月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
6月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
7月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
8月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
10月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
11月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
12月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
2025年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
2月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
3月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	

【凡例】 ■:作業日 休:休工日 (空白):対象外期間

- 計画時チェック
- ・休工日(休)の合計が、現場閉所日数となる。…①
  - ・作業日(■)と休工日(休)の合計が、対象期間日数となる。…②
  - ・右記の現場閉所率は、①/②により計算される。
  - ・現場閉所率は  
4週8休以上: 8日/28日=28.5%以上休

計画時チェック

実施時チェック

週休2日達成率  
現場閉所率(%) = 7日/28日 → 28.794%

これが履行状況

完全週休2日(土日)達成  
日確認対象期間  
4週8休以上

月単位での4週8休達成

週休2日達成判定  
現場閉所率(%) = 67日/238日 → 28.151%  
4週7休以上4週8休未滿

〔週休別現場閉所率〕

4週8休以上  
28.5%以上

## 週休2日工事【現場閉所】の経費の補正について

〔土木工事・水道工事〕

週休2日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する。  
 対象工事は、特記仕様書に週休2日工事である旨の記載がある工事とする。  
 計上方法は以下のとおりとする。

- 1 週休2日を実施する工事については、釧路市週休2日工事実施要領に示す、「現場閉所率の算定方法」により、現場閉所率を算出し、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。

## &lt;現場の閉所状況&gt;

月単位及び通期の4週8休の現場の閉所状況を達成した場合。

月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率」)が28.5%(8日/28日)以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。

通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が28.5%(8日/28日)以上の水準をいう。

## &lt;補正係数&gt;

	現場の閉所状況	
	通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
労務費	1.02	1.04
機械経費(賃料)	1.02	1.02
共通仮設費率	1.02	1.03
現場管理費率	1.03	1.05

## &lt;市場単価 補正係数&gt;

下記補正係数一覧による。

## 2 補正方法

## 受注者希望型

現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

<市場単価補正係数一覧>

名称	区分	補正係数			
		現場閉所		交替制	
		通期	月単位	通期	月単位
鉄筋工		1.02	1.04	1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03	1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01	1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02	1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01	1.00	1.00
	撤去・移設	1.02	1.03	1.01	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02	1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03	1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03	1.01	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04	1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04	1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01	1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01	1.00	1.01
グレーピング工		1.00	1.01	1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02	1.01	1.02
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		1.01	1.01	1.01	1.01

<土木工事標準単価補正係数一覧>

名称	区分	補正係数			
		現場閉所		交替制	
		通期	月単位	通期	月単位
区画線工		1.02	1.04	1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04	1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03	1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03	1.01	1.03
	人力	1.02	1.04	1.02	1.04
コンクリートブロック積工		1.02	1.04	1.02	1.03
排水構造物工		1.02	1.04	1.02	1.03
鋼製排水溝設置工		1.02	1.04	1.02	1.04
表面被覆工(コンクリート保護塗装)	固定足場	1.00	1.02	1.01	1.02
	高所作業車	1.01	1.02	1.01	1.02
表面含浸工	固定足場	1.02	1.04	1.02	1.04
	高所作業車	1.02	1.04	1.02	1.03
連続繊維シート補強工	固定足場	1.02	1.04	1.02	1.04
	高所作業車	1.02	1.04	1.02	1.03
剥落防止工(アラミドメッシュ)	固定足場	1.02	1.04	1.02	1.03
	高所作業車	1.02	1.04	1.02	1.04
漏水対策材設置工	固定足場	1.02	1.04	1.02	1.04
	高所作業車	1.02	1.04	1.02	1.03
防草シート設置工		1.01	1.03	1.01	1.03
紫外線硬化型FRPシート設置工(ポリエステル樹脂)	固定足場	1.01	1.02	1.01	1.02
	高所作業車	1.01	1.01	1.01	1.01
塗装除却工		1.02	1.04	1.02	1.04
バキュームブラスト工		1.01	1.01	1.00	1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00	1.01	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04	1.02	1.04
仮設防護柵設置工(仮設ガードレール)		1.02	1.04	1.02	1.04
機械式接手工		1.02	1.04	1.02	1.04
抵抗板付鋼製杭基礎工		1.02	1.03	1.01	1.02
ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目地設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
FRP製格子状パネル設置工		1.00	1.00	1.00	1.00
浸食防止用植生マット工(養生マット工)		1.02	1.04	1.02	1.04
支承金属溶射工		1.02	1.04	1.02	1.04
耐圧ポリエチレンリブ管(ハウエル管)設置工		1.02	1.03	1.02	1.03

<下水道（管路）市場単価補正係数一覧>

名称	規格・仕様	補正係数			
		現場閉所 4週8休以上		交替制 4週8休以上	
		通期	月単位	通期	月単位
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.01	1.02
リブ月硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04	1.02	1.04
砂基礎工	機械施工	1.02	1.04	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04	1.02	1.04
碎石基礎工	機械施工	1.02	1.04	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03	1.01	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.00	1.01
取付管およびます設置工	取付管敷設及び支管取付工	1.01	1.02	1.01	1.02

## 〔漁港工事〕

週休2日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する。

対象工事は、特記仕様書に週休2日工事である旨の記載がある工事とする。

計上方法は以下のとおりとする。

- 1 週休2日を実施する工事については、釧路市週休2日工事実施要領に示す、「現場閉所率の算定方法」により、現場閉所率を算出し、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。

また、同一工事において、海上作業と陸上作業が混在する工事の場合は、それぞれの週休2日確認対象期間に対する現場閉所日数を合算し算出する。

### <現場の閉所状況>

月単位の4週8休以上

現場閉所率が28.5%(8日/28日)以上の場合

### <補正係数>

	月単位 4週8休以上
労務費※	1.04
機械経費(賃料)	1.02
共通仮設費率	1.02
現場管理費率	1.03

※1 港湾5職種(高級船員、普通船員、潜水土、潜水連絡員、潜水送気員を含む)

### <市場単価 補正係数>

下記補正係数一覧による。

## 2 補正方法

受注者希望型

現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、補正係数を乗じない。

(市場単価補正一覧) ※月単位の4週8休以上達成のみ適用

	市 単 価 工 種	市場 単価 補正
1	底面工	1.03
2	マット工 (アスファルトマット設置・ゴムマット設置)	1.00
3	支保工*	1.04
4	足場工	1.02
5	鉄筋工*	1.04
6	吊鉄筋工	1.04
7	型枠工*	1.03
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)*	1.04
	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)*	1.04
9	止水板工	1.04
10	上蓋工	1.04
11	収縮目地工*	1.02
12	係船柱取付	1.04
13	防舷材取付* <sup>1</sup>	1.04
14	車止め・縁金物取付	1.04
15	係船柱撤去	1.04
16	防舷材撤去	1.04

	市 単 価 工 種	市場 単価 補正
17	車止撤去	1.04
18	電気防食取付	1.04
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.04
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.03
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.03
22	港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.03
23	ベトロラタム被覆	1.04
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.04
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.04
26	かき落とし工	1.04
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
28	汚濁防止膜設置・撤去	1.02
29	灯浮標設置・撤去	1.03
30	汚濁防止膜保守管理(海上目線点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
	汚濁防止膜保守管理(海上目線点検作業船なし)	1.04
31	異形ブロック製作 型枠工	1.04
	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.04
	異形ブロック製作 給熱養生	1.03

※潮待ちを含む

## 〔営繕工事〕

週休2日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する。  
対象工事は、特記仕様書に週休2日工事である旨の記載がある工事とする。  
計上方法は以下のとおりとする。

- 1 週休2日を実施する工事については、釧路市週休2日工事実施要領に示す、「現場閉所率の算定方法」により、現場閉所率を算出し、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。

### <現場の閉所状況>

月単位及び通期の4週8休の現場の閉所状況を達成した場合。

月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率」)が28.5%(8日/28日)以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。

通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が28.5%(8日/28日)以上の水準をいう。

### <補正係数>

	現場の閉所状況	
	通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
労務費	1.02	1.04

### <市場単価 補正係数>

下記補正係数一覧による。

## 2 補正方法

### 受注者希望型

現場閉所の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

- 3 工事費の積算に用いる単価の補正方法等は以下による。

### (1) 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事設計労務単価に営繕工事における週休2日の補正係数を乗じて補正する。

なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

(2) 市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格

市場単価と補正市場単価は、実施要領の補正係数から算出した以下の表A、表E及び表Mの補正率の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

- ・市場単価 × 新営補正率
- ・補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合】

- ・市場単価 × 新営補正率
- ・補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合】

- ・市場単価 × 改修補正率
- ・補正市場単価 × 改修補正率

物価資料の掲載価格（市場単価以外の材工単価）を採用する場合は、掲載価格を、以下の表の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事、全館無人改修の場合】

- ・物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【執務並行改修の場合】

- ・物価資料の掲載価格 × 改修補正率

表A 建築工事の補正率

工種	摘要	月単位の週休2日工事		通期の週休2日工事	
		新営補正率	改修補正率	新営補正率	改修補正率
仮設工事		1.03	1.03	1.01	1.01
土工事		1.02	1.02	1.01	1.01
地業工事		1.02	1.02	1.01	1.01
鉄筋工事		1.03	1.03	1.01	1.01
コンクリート工事		1.03	1.03	1.01	1.01
型枠工事		1.03	1.03	1.01	1.01
鉄骨工事		1.03	1.03	1.02	1.02
既製コンクリート		1.02	1.02	1.01	1.01
防水工事	市場単価	1.02	1.09	1.01	1.08
防水工事（シーリング）	市場単価	1.03	1.16	1.01	1.14
防水工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
石工事		1.02	1.02	1.01	1.01
タイル工事		1.02	1.02	1.01	1.01
木工事		1.02	1.02	1.01	1.01
屋根及びとい		1.02	1.02	1.01	1.01

金属工事	市場単価	1.02	1.10	1.01	1.09
金属工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
左官工事 (仕上塗材仕上)	市場単価	1.03	1.03	1.01	1.01
左官工事 (仕上塗材仕上以外)	市場単価	1.03	1.17	1.01	1.16
左官工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
建具 (ガラス)	市場単価	1.02	1.11	1.01	1.10
建具 (シーリング)	市場単価	1.03	1.18	1.02	1.16
建具	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
塗装工事	市場単価	1.03	1.17	1.01	1.15
塗装工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
内外装工事	市場単価	1.03	1.14	1.01	1.13
内外装工事 (ビニル系床材)	市場単価	1.02	1.09	1.01	1.08
内外装工事	物価資料	1.03	1.03	1.01	1.01
内外装工事 (ビニル系床材)	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01
仕上げユニット		1.01	1.01	1.01	1.01
排水工事		1.02	1.02	1.01	1.01
舗装工事		1.01	1.01	1.01	1.01
植栽及び屋上緑化		1.02	1.02	1.01	1.01

※「市場単価」：市場単価及び補正市場単価の補正率を示す。

「物価資料」：物価資料の掲載価格の補正率を示す。

なお、記載が無い項目は市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格に共通の補正率を示す。

表E 電気設備工事の補正率

工種	摘要	月単位の週休2日工事		通期の週休2日工事	
		新営補正率	改修補正率	新営補正率	改修補正率
配管工事	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.03	1.21	1.01	1.19
	ケーブルラック	1.02	1.17	1.01	1.15
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.03	1.20	1.01	1.18
	プルボックス	1.02	1.15	1.01	1.13
	プルボックス用接地端子	1.00	1.00	1.00	1.00
	防火区画貫通処理ケーブルラック用(壁・床)	1.02	1.16	1.01	1.14
	防火区画貫通処理金属管・丸型用	1.01	1.06	1.01	1.05
	(電動機その他接続材工事)金属製可とう電線管	1.02	1.17	1.01	1.15
配線工事	600V絶縁電線及び600V絶縁ケーブル	1.03	1.19	1.01	1.17
接地工事	(接地極工事)銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票(金属製)	1.02	1.02	1.01	1.01

表M 機械設備工事の補正率

工種	摘要	月単位の週休2日工事		通期の週休2日工事	
		新営補正率	改修補正率	新営補正率	改修補正率
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.03	1.17	1.01	1.15
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧チャンパー類	1.03	1.17	1.01	1.15
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.04	1.24	1.02	1.22
衛生器具設備(ユニットを除く)	取付手間のみ	1.04	1.24	1.02	1.22

## 週休2日工事【交替制】の経費の補正について

〔土木工事・水道工事〕

週休2日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する。

対象工事は、社会的要請や時間的な制約などにより現場閉所を行うことが困難な工事とする。計上方法は以下のとおりとする。

- 1 週休2日を実施する工事については、釧路市週休2日工事実施要領に示す、「現場閉所率の算定方法」により、休日率を算出し対象期間における現場の休日状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。

<技術者及び技能労働者の休日率の状況>

4週8休以上

休日率が28.5%（8日／28日）以上の場合

<補正係数>

	現場の閉所状況	
	通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
労務費	1.02	1.04
現場管理費率	1.01	1.03

## 2 補正方法

受注者希望型

休日率の達成状況を確認後、月単位の4週8休に満たないものは、通期の週休2日交替制の補正係数に設計変更する。通期の4週8休に満たないものについては、補正係数を乗じない。

履行確認時 例

平日休日日数の割合（休日率）の算出シート

No.	会社名	指名	通期の週休2日				1月				2月				〇月				〇月				
			対象期間	休日	休日率	平均	対象日	休日	休日率	平均	対象日	休日	休日率	平均	対象日	休日	休日率	平均	対象日	休日	休日率	平均	対象日
1	株式会社 釧路市	釧路 太郎	365	97	26.6%		31	8	25.9%		28	8	28.6%		31	9	29.1%		31	8	25.9%		30
2	株式会社 釧路市	釧路 太郎	365	110	30.2%		31	9	29.1%		28	8	28.6%		31	9	29.1%		31	9	29.1%		30
3	株式会社 釧路市	釧路 太郎	365	107	29.4%		31	10	32.3%		28	8	28.6%		31	9	29.1%		31	10	32.3%		30
4	釧路建設 株式会社	技術 三郎	199	58	29.2%																		
5	釧路建設 株式会社	技術 三郎	194	55	28.4%																		
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							

下請け業者の場合は下請け契約期間内の現場作業開始日から終了日